

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型事業所スマイスセレソンサポート				公表日	2025年 3月 14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	0	・利用しているお子様がのびのびと過ごせるよう、スペースに余裕がある。	・利用する子様が増えていった場合は、再度環境設定等を話し合い、スペースを確保していきたい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	0	・個別、集団と分かれて支援が出来たり、トラブルが起こった際は、そのお子様に職員が寄り添えるよう配置が出来ている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	4	・机上課題をするスペース、遊ぶスペース等に分けて空間を工夫している。 ・ホワイトボードで予定等をあらかじめ書き、タイマーや視覚的な支援も入れている。	・身体障がい者の受け入れを現在行っていないため、今後受け入れるようになれば、階段やトイレ等、改善が必要となる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	0	・毎日、清掃、消毒、換気を行い清潔な空間にしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	2	・利用しているお子様が落ち着けるよう、発達支援室の横に個室を用意している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	2	・行事等があった際は行うことが出来る。	・出来ている時と出来ていない時があるため、時間をしっかりと確保し、より良い業務ができるよう務める。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	2	・保護者様の意向を共有し、お応えできるよう工夫している。	・満足していただけるよう業務改善していく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1	・職員の意見や利用しているお子様の状態等を把握する機会を設けている。	・話し合いの結果を踏まえ、満足していただけるよう業務改善していく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	8		・評価結果による業務改善を行っていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	2	・毎月研修を開催している。	・職員皆が参加出来るように日程調整を行う。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	6	・支援プログラムは作成されている。	・ホームページに公表していく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	3	・利用しているお子様の様子をしっかりと共有することが出来る。	・今後もしっかりと分析を行い、支援計画作成に取り組んでいく。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	3	・毎月検討会議を開催している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	2	・支援計画作成後には共有し、支援を行うことが出来る。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	3		・みんなが分かりやすいアセスメントツールを作り、状況を把握していく。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	3	・ガイドラインに沿って具体的な支援内容を設定することが出来る。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	0	・情報収集を行い、話し合っで固定化しないようにしている。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	・活動の時間に合わせて、課題を設定している。 ・長期休暇には普段できない内容を取り入れるようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	2	・利用しているお子様の状況に応じて、しっかりと作成することが出来ている。	・保護者様ともしっかりと連携を取り、よりよい支援が行えるよう努める。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	2	・毎朝話し合いが出来ている。 ・必要に応じ、その日の利用者の対応については共通理解の場を持っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	2	・共有することが出来ている。 ・トラブル等問題発生があった時は、終了後共通理解をするようにしている。	・時間によりできる時と出来ない時があるため、出来ない時は必ず翌朝に行うようにする。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	2	・毎日しっかりと記録することが出来ている。 ・一人の意見で支援を行うのではなく、次はこうしてこう等と話し合うことが出来ている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	1		・モニタリング時期をしっかりと確認していく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	1	・支援に携わっている職員が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	1	・通園している先生とは積極的に連携し、支援を行う体制が整っている。 ・会議等を通し、利用しているお子様の情報共有を行うことが出来ている。	・みんなが連携できるような体制をつくっていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	1	・相談があった際は、事業所での対応方法を伝え、どの支援が一番お子様に合っているのか一緒に考え支援をすることが出来ている。	・引き続き、積極的に情報共有等行っていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	3		・まだ就学時の移行はまだ出来ていない。しっかりと情報共有等行っていく。 ・今後スムーズに情報共有ができるよう、近隣の学校の先生と連携を取る。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	9		・積極的に連携を取り、助言等を受けていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	11	1	・隣接している園の行事等に参加することが出来ている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	2	・送迎時に保護者様とお子様の状況等を話すことが出来ている。	・送迎のみではなく、面談の機会を増やしていく。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	8		・職員も研修を受け、保護者様と一緒によりよい支援等を探していきたい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	2	・契約時に説明をしている。 ・分からないことがあれば、その都度案内をしている。	・今後内容が変わったりした際は、丁寧に案内をしていく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	2	・機会を設けている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12		・直接計画を説明し、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	2	・送迎時やアプリ、電話を使って話をしている。	・送迎時等だけではなく、定期的に面談を行っている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	9		・アンケートに基づき、開催していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	2	・要望があれば迅速かつ適切に対応できるよう努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	2		・口頭やLINEでの発信となっているため、定期的にわかりやすく発行していきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0	・十分に気を付けている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0	・普段あまり会えない保護者様には、LINEやアプリ、電話等を通して伝えている。 ・お子様と話すときは、表情等を確認しながら視覚カードなどを用いて話している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	12		・今後開催するときは、招待していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	2	・マニュアルを査定しており、共有することが出来ている。 ・訓練計画を立て、訓練を行うことが出来ている。	・内容などに変更があった際は、しっかりと周知・訓練実施をしていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	2		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	0	・契約時にあらかじめ記入をしてもらっている。	・定期的に変更等ないか、保護者様に確認をしていく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	2	・給食等を食べるお子様については、アレルギーがあるかどうか書類に記入してもらっている。	・該当者がいるときは指示書に基づいて対応していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	2	・研修を行うことが出来ている。 ・訓練計画を立て、訓練を行うことが出来ている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	2	・連携が図られるように出来ている。	・しっかりと周知を行っていきたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	・職員間で共有し、再発防止するよう努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0	・研修計画を立て、参加することが出来ている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12	0	・保護者様にも文章で伝えることが出来ている。		